

我が国と諸外国の食料自給率

農水省は10月10日、2024年度の我が国の食料自給率を公表した。カロリーベースでは前年並みで4年連続の38%（1人・1日当たり国産供給熱量860kcal÷同総供給熱量2,248kcal×100）、生産額ベース（12.8兆円÷20.1兆円×100）では前年度より3ポイント高い64%となっている。

食料自給率は1965年にはカロリーベースで73%、生産額ベースで86%であったものが、米の消費が減少する一方で畜産物や油脂類の消費が増大する等の食生活の変化により、低下傾向をたどっていたが、2000年代に入ってから概ね横ばい傾向で推移している。改正食料・農業・農村基本計画では、2030年度までにカロリーベースの食料自給率を45%に引き上げる計画だが、わずかな上昇にとどまっている。

諸外国の食料自給率の試算値を比較表-1)すると、①カロリーベースについては、国内の消費人口が小さく、カロリーベースに

寄与する穀物、油糧種子等の生産量が多いカナダ、オーストラリア等の国が上位に位置づけられる一方、②生産額ベースについては、野菜・果実等の輸出量が多いイタリアがドイツ、イギリスを上回るなど、カロリーに比して価格の高い野菜・果実、畜産物の動向がより反映される傾向にある。

我が国は人口の割には農用地面積が、EU諸国に比べても少なく、食料自給率は、諸外国と比較すると、特にカロリーベースは低い水準にある。

また、令和7年食料・農業・農村基本計画では、平時において国民の日常生活に必要な摂取熱量のどの程度が国産で賄われているかを示す指標として「摂取熱量ベース」の食料自給率が設定され、分母を「平時における国民の日常生活に必要な摂取熱量1,850kcal」として算定し、46%となっている。（K.O）

表-1 我が国と諸外国の食料自給率（2022年）

国名	食料自給率（%）		国土面積 （万ha）	農用地面積 A （万ha）	人口 B （万人）	A/B
	カロリーベース	生産額ベース				
カナダ	117	107	156,344	5,708	3,930	1.45
オーストラリア	247	114	77,412	36,352	2,645	13.74
アメリカ	101	69	98,315	41,241	34,350	1.20
フランス	118	72	5,491	2,830	6,644	0.43
ドイツ	79	40	3,576	1,660	8,455	0.20
イギリス	59	60	2,436	1,683	6,868	0.25
イタリア	52	74	3,021	1,300	5,950	0.22
スイス	46	52	413	150	887	0.17
日本*	38	64	3,780	463	12,321	0.04

* 日本は2024年度

農林水産省「食料需給表」、FAO「FoodBalance Sheets」等を基に試算